

科目コード	R6043	科目名	園芸療法				
履修区分	選択	開講期	2年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	高松 雅子						
授業の概要	近年、注目されている園芸療法・園芸福祉について、その概念の理解と実習を通してリハビリテーションへの具体的適用について学ぶ。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						-
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
	2025年度以降の学則適用者用のディプロマ・ポリシーとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は、項目順や表現が異なります DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	社会的意義と医学的効果について論理的に修得し、実施プログラムを策定できる。						
履修上の注意事項	初級園芸福祉士の受験資格を得られる。受験料は6000円。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	第1章 いま、なぜ園芸療法、園芸福祉なのか？植物の導入 第2章 活動を地域の中に普及する				園芸療法で得られる効果を考えてみる（60分）	
	2	第4章 植物の効果と療法ガーデンでの園芸作業				植物はどんな効果をもたらすか考えてみよう（60分）	
	3	討議：園芸療法ガーデンの視点 グループ討議				園芸療法ガーデンのデザインをイメージしてみる（60分）	
	4	実習：モデルガーデン作り				花壇の植栽方法を調べておく（60分）	
	5	第3章 園芸療法コミュニティと市民農園 実習：園芸療法 ガーデンモデル 討議とプラン作り				家の周りの市民農園を探してみよう（60分）	
	6	第5章 園芸療法プログラム実践方法				園芸でどんな療法的プログラムを計画できるか考えておく（60分）	
	7	討議：園芸療法プログラムの進め方 グループ討議 実習：プログラムの実践（視覚障害の人楽しむ挿し木）				障害を持った方との園芸の進め方を考える（60分）	
	8	初級園芸福祉士試験に関して / 試験				授業の振り返り、重点をまとめておく。	
成績評価方法	期末試験 50%、授業内ワークシート 30%、授業関与度 20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	園芸福祉入門・日本園芸福祉普及協会（創森社）					978-4-88340-208-3	
参考書							
教員からのメッセージ	時間を守ること。携帯によるメール私語等の禁止。 テキストで予習して講義に臨むこと。随時、参考文献や資料の紹介をします。ノートや資料のファイリングをすること。						
教員との連絡方法							
実務経験のある教員	高齢者施設・障がい者施設での園芸療法実務経験を活かし、プログラムに応じた講義及び実習を行う。						